

九州電力株式会社
川内原子力発電所2号機
安全確保上重要な行為等の保安検査報告書
(平成29年度第3四半期)

平成30年2月
原子力規制委員会

目 次

1. 実施概要	1
2. 川内原子力発電所の設備および運転概要	2
3. 保安検査内容	2
4. 保安検査結果	3
(1) 検査結果	3
(2) 違反事項	9
5. 特記事項	9

1. 実施概要

(1) SA等要員訓練時の保安検査

保安検査実施期間(詳細日程は別添1、別添2、別添3及び別添4参照)

- ア) 現場シーケンス訓練「全交流動力電源喪失(RCPシールLOCAが発生する場合)」
 - 自 平成29年11月10日(金)
 - 至 平成29年11月22日(水)
- イ) 現場シーケンス訓練「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧破損)」
 - 自 平成29年11月24日(金)
 - 至 平成29年12月 6日(水)
- ウ) 大規模損壊発生時の対応に係る総合的な訓練
 - 自 平成29年12月20日(水)
 - 至 平成29年12月27日(水)
- エ) その他のSA等要員訓練
別添4の保安検査実施日

保安検査実施者

- ア) 現場シーケンス訓練「全交流動力電源喪失(RCPシールLOCAが発生する場合)」
 - 川内原子力規制事務所
 - 川ノ上 浩文
 - 森園 康弘
 - 小林 慎治
 - 佐々木 敬一
 - 米丸 祥一
 - 藤原 秀一
 - 浜岡原子力規制事務所
 - 矢野 雅之
 - 長官官房総務課 事故対処室
 - 村田 真一
 - 林田 英明
 - 長官官房 緊急事案対策室
 - 喜屋武 尚
- イ) 現場シーケンス訓練「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧破損)」
 - 川内原子力規制事務所
 - 川ノ上 浩文
 - 森園 康弘
 - 小林 慎治
 - 佐々木 敬一
 - 米丸 祥一
 - 中村 哲郎
 - 長官官房総務課 事故対処室
 - 水野 大
 - 長官官房 緊急事案対策室
 - 松原 匡

ウ)大規模損壊発生時の対応に係る総合的な訓練

川内原子力規制事務所

川ノ上 浩文

森園 康弘

小林 慎治

佐々木 敬一

米丸 祥一

藤原 秀一

エ) その他のSA等要員訓練

川内原子力規制事務所

川ノ上 浩文

森園 康弘

小林 慎治

佐々木 敬一

米丸 祥一

藤原 秀一

中村 哲朗

2. 川内原子力発電所の設備および運転概要

号機	出力 (万 kW)	運転開始年月	前四半期から保安検査終了日までの運転状況
2号機	89.0	昭和60年11月	運転期間 (平成29年2月26日~) 停止期間 () 施設定期検査期間 ()

3. 保安検査内容

2号機に対する安全確保上重要な行為等の保安検査では、下記に示す検査項目について、立入り、物件検査、関係者質問により、保安規定の遵守状況を確認するとともに、日々実施している運転管理状況の聴取、記録確認、原子炉施設の巡視等についても保安検査として実施した。

(1) SA等要員訓練時の保安検査

ア) 現場シーケンス訓練「全交流動力電源喪失(RCPシールLOCAが発生する場合)」

・SA等要員訓練に係る準備の実施状況

・SA等要員訓練の実施状況

イ) 現場シーケンス訓練「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧破損)」

・SA等要員訓練に係る準備の実施状況

・SA等要員訓練の実施状況

ウ)大規模損壊発生時の対応に係る総合的な訓練

- ・SA等要員訓練に係る準備の実施状況
- ・SA等要員訓練の実施状況

エ) その他のSA等要員訓練

- ・その他のSA等要員訓練の実施状況

4.保安検査結果

(1) 検査結果

SA等要員訓練時の保安検査

SA等要員訓練として、平成29年11月14日から11月17日にかけて現場シーケンス訓練「全交流動力電源喪失(RCPシールLOCAが発生する場合)」、平成29年11月28日から12月1日にかけて現場シーケンス訓練「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧破損)」及び平成29年12月22日に「大規模損壊発生時の対応に係る総合的な訓練」が予定されていたことから「SA等要員訓練に係る準備の実施状況」及び「SA等要員訓練の実施状況」について確認することとし、検査を実施した。

また、平成29年度第3四半期において「その他のSA等要員訓練」が実施されたことから「その他のSA等要員訓練の実施状況」について確認することとし、検査を実施した。

：重大事故等発生時又は大規模損壊発生時における発電用原子炉施設の保全のための活動を行うために必要な要員に対する訓練

ア) 現場シーケンス訓練「全交流動力電源喪失(RCPシールLOCAが発生する場合)」

検査の結果「SA等要員訓練に係る準備の実施状況」については、原子力訓練センター所長が、平成29年度の成立性確認訓練等の実施計画を作成し、原子炉主任技術者の確認、所長の承認を得ていること及び緊急時対策本部要員(指揮者等)、運転員、運転対応要員及び保守対応要員(初動対応要員、初動後対応要員)で構成する班の中から昨年度以前とは異なる任意の班を選定し、訓練体制を構築していることを記録¹により確認した。

所長、発電課長及び原子力訓練センター所長が、今回の訓練対象者である緊急時対策本部要員(指揮者等)、運転員、運転対応要員及び保守対応要員(初動対応要員)に対して、力量評価を行っていることを記録¹により確認した。また、協力会社の長が、今回の訓練対象者である保守対応要員(初動後対応要員)に対して、力量評価を行うとともに、委託発注元の長が、力量評価結果を確認していることを記録¹により確認した。

発電課長及び保守課長が、当該訓練で使用する手順書を適宜見直していることを運転基準・操作手順書²により確認した。

発電課長及び保守課長が、重大事故等対処設備の点検を適切に実施していることを記録¹により確認した。

「SA等要員訓練の実施状況」については、訓練体制表に定められた訓練対象者、評価者、訓練確認者、時間計測員等を確保し、訓練体制を確立していることを立会³により確認した。

当直副長が、システム情報 等を確認しながらプラントの状況判断を行うとともに、判断した操作等について指示していることを立会³により確認した。

訓練1日目の運転員、運転対応要員及び保守対応要員が、運転基準・操作手順書²に従い、重大事故対応の操作・作業[大容量空冷式発電機からの給電準備・起

動操作、常設電動注入ポンプ準備(ディスタンスピース取替え)、B充てん/高圧注入ポンプ(自己冷却)準備(ディスタンスピース取替え)、アニュラス空気浄化ファンのダンパ空気供給操作、中央制御室非常用循環系ダンパ開処置等]を実施(実働・模擬)した後、当直副長等に報告していることを立会³により確認した。

緊急時対策本部要員(指揮者等)が、プラント状態等の情報収集を行うとともに「運転基準」等に従い、重大事故対応に必要な作業等について指示していることを立会³により確認した。

訓練2日目以降の運転員及び保修対応要員等が、運転基準・操作手順書²に従い、重大事故対応の操作・作業[取水用水中ポンプ・水中ポンプ用発電機・可搬型ホースの設置、中間受槽の設置、移動式大容量ポンプ車可搬ホース等の設置、海水ストレーナ上蓋取替(モックアップ)、可搬型温度計測装置取付け、A、B格納容器再循環ユニット及び必要補機への海水通水系統構成等]を実施(実働・模擬)した後、緊急時対策本部要員(指揮者等)に報告していることを立会³により確認した。

時間計測員が現場操作等に要した時間を適切に計測し、記録していることを立会³により確認した。

原子力訓練センター所長が、現場シーケンス訓練時の確認ポイントチェックシート及び成立性確認チェックシート等を確認し、手順書どおりに実施できていること、個別手順書毎に定められた要員で実施できていること、有効性評価の成立性担保のために必要な操作が、完了すべき時間内(ホールドポイント)に完了していること等が確認できたことから評価結果を「良」としていることを記録¹により確認した。

また、訓練対象者(運転操作指揮者、保修対応要員リーダー)に対してインタビューを実施し、重大事故等発生時における操作・作業の目的や注意点などの理解度等について確認した。

なお、海水ストレーナ上蓋取替え作業(モックアップ)において、海水ストレーナのフランジ面のボルト・ナットを何度か落とし、その度にボルト・ナットを拾い作業を進めていたが、実際の現場は床面(グレーチング)と海水ストレーナとの間に隙間があり、落としたボルト・ナットがその隙間から抜け落ちてしまうことも考えられることから、ボルト・ナットを落とさないように注意して作業を行う必要があることを気付き事項として指摘した。これを受け事業者から、今後、訓練関係者に対して実際の現場を意識してボルト・ナットの取り扱いに注意して作業するよう周知するとともに、「移動式大容量ポンプ車による海水通水手順書」を改正し、ボルト・ナットを落とさないよう注意して作業することを追記する旨の回答を得た。

：解析結果に基づく重要パラメータの時間変化データを中央制御室及び緊急時対策本部のディスプレイに表示させる装置

1：確認した記録

- ・平成29年度川内原子力発電所原子力一般教育の実施計画(重大事故等発生時の対応に係る成立性の確認訓練)
- ・現場シーケンス訓練 訓練体制【全交流動力電源喪失(RCPシールLOCAが発生する場合)】
- ・力量評価表(緊急時対策本部要員(指揮者等)の力量)
- ・発電課員力量評価表
- ・重大事故等対策要員(運転対応要員)力量評価表
- ・重大事故等対策要員(保修対応要員)力量評価表(技術系社員)

- ・重大事故等対策要員(保修対応要員) 力量評価表(協力会社員)
 - ・重大事故等対策用資機材等点検チェックシート
 - ・川内 - 1, 2 重大事故等対処設備(保安規定第 83 条) に係る年間点検計画(実績) 表[汽機・制御・電気] 関係設備点検
 - ・重大事故等対処設備サーバランス管理表
 - ・成立性の確認訓練実績報告(平成 29 年度)
 - ・現場シーケンス訓練 の実施結果の評価 他
- 2: 確認した運転基準・操作手順書

a) 運転基準

(緊急処置編)

- ・事故直後の操作及び事象判別

(緊急処置編第二部)

- ・全交流動力電源喪失

(緊急処置編個別手順書)

- ・大容量空冷式発電機による受電
- ・常設電動注入ポンプによる代替炉心注入
- ・アニュラス空気浄化系による水素排出
- ・移動式大容量ポンプ車を用いた補機冷却海水通水及び A、B 格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却 他

b) 操作手順書

- ・常設電動注入ポンプによる接続手順書(格納容器スプレイ・炉心注入)
- ・B 充てん / 高圧注入ポンプ自己冷却ライン接続手順書
- ・制御用空気喪失時における中央制御室空調系自動ダンパの開処置手順書
- ・宮山池(淡水) から中間受槽への給水手順書
- ・中間受槽の組立手順書
- ・移動式大容量ポンプ車による海水通水手順書
- ・可搬型計測器による監視パラメータ測定手順書 他

3: 立会した内容

- ・訓練体制の確立状況
- ・訓練対象者の活動状況(情報収集、状況判断、指示・報告、手順書の遵守等)
- ・時間計測員の活動状況(時間計測・記録等) 他

イ) 現場シーケンス訓練「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧破損)」

検査の結果「SA 等要員訓練に係る準備の実施状況」については、原子力訓練センター所長が、平成 29 年度の成立性確認訓練等の実施計画を作成し、原子炉主任技術者の確認、所長の承認を得ていること及び緊急時対策本部要員(指揮者等)、運転員、運転対応要員及び保修対応要員(初動対応要員、初動後対応要員) で構成する班の中から昨年度以前とは異なる任意の班を選定し、訓練体制を構築していることを記録¹により確認した。

所長、発電課長及び原子力訓練センター所長が、今回の訓練対象者である緊急時対策本部要員(指揮者等)、運転員、運転対応要員及び保修対応要員(初動対応要員) に対して、力量評価を行っていることを記録¹により確認した。また、協力会社の長が、今回の訓練対象者である保修対応要員(初動後対応要員) に対して、力量評価を行うとともに、委託発注元の長が、力量評価結果を確認していることを記録¹により確認した。

発電課長及び保修課長が、当該訓練で使用する手順書を適宜見直していることを運転基準・操作手順書²により確認した。

発電課長及び保修課長等が、重大事故等対処設備の点検を適切に実施していることを記録¹により確認した。

「SA等要員訓練の実施状況」については、訓練体制表に定められた訓練対象者、評価者、訓練確認者、時間計測員等を確保し、訓練体制を確立していることを立会³により確認した。

当直副長が、システム情報等を確認しながらプラントの状況判断を行うとともに、判断した操作等について指示していることを立会³により確認した。

訓練1日目の運転員が、運転基準²に従い、重大事故対応の操作・作業[大容量空冷式発電機からの給電準備・起動操作、常設電動注入ポンプの系統構成(格納容器スプレイ)、B充てん/高圧注入ポンプ(自己冷却)の系統構成、アニュラス空気浄化ファンの起動操作、可搬型格納容器水素濃度計測装置の準備・起動等]を実施(模擬)した後、当直副長等に報告していることを立会³により確認した。

緊急時対策本部要員(指揮者等)が、プラント状態等の情報収集を行うとともに「運転基準」等に従い、重大事故対応に必要な作業等について指示していることを立会³により確認した。

訓練2日目以降の保修対応要員が、操作手順書²に従い、重大事故対応の操作・作業[取水用水中ポンプ・水中ポンプ用発電機・可搬型ホースの設置、中間受槽の設置、ガスサンプリング冷却器用海水屋外排出ラインの接続等]を実施(実働・模擬)した後、緊急時対策本部要員(指揮者等)に報告していることを立会³により確認した。

また、訓練対象者(運転操作指揮者、保修対応要員リーダー)に対してインタビューを実施し、重大事故等発生時における操作・作業の目的や注意点などの理解度等について確認した。

なお、復水タンクの仮設水位計取付け作業において、仮設水位計(透明ホース)に水位確認用の浮玉が入っていない状態で作業を終了していたことを気付き事項として指摘した。これを受け事業者から、今後、訓練関係者に対して仮設水位計に浮玉が入っていることの確認を確実にを行うよう周知するとともに、「中間受槽から1号(2号)復水タンクへの給水手順書」を改正し、作業実施者が、仮設水位計に浮玉が入っていることを作業終了前に確認することを追記する旨の回答を得た。

さらに、海水ストレーナ上蓋取替え作業(モックアップ)において、海水ストレーナのパッキン・エレメントの状態確認を十分に行わず作業を終了していたことを気付き事項として指摘した。これを受け事業者から、今後、訓練関係者に対してパッキン・エレメントの状態確認を確実にを行うよう周知するとともに、「移動式大容量ポンプ車による海水通水手順書」を改正し、作業実施者が、パッキン・エレメントの状態確認が完了していることを上蓋取り付け前に確認することを追記する旨の回答を得た。

：解析結果に基づく重要パラメータの時間変化データを中央制御室及び緊急時対策本部のディスプレイに表示させる装置

1：確認した記録

- ・平成29年度川内原子力発電所原子力一般教育の実施計画(重大事故等発生時の対応に係る成立性の確認訓練)
- ・現場シーケンス訓練 訓練体制【 雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器

過圧破損))

- ・力量評価表(緊急時対策本部要員(指揮者等)の力量)
 - ・発電課員力量評価表
 - ・重大事故等対策要員(運転対応要員)力量評価表
 - ・重大事故等対策要員(保守対応要員)力量評価表(技術系社員)
 - ・重大事故等対策要員(保守対応要員)力量評価表(協力会社員)
 - ・重大事故等対策用資機材等点検チェックシート
 - ・川内 - 1, 2 重大事故等対処設備(保安規定第 83 条)に係る年間点検計画(実績)表[汽機・原子炉・制御・電気]関係設備点検
 - ・重大事故等対処設備サーバランス管理表
 - ・成立性の確認訓練実績報告(平成 29 年度)
 - ・現場シーケンス訓練の実施結果の評価 他
- 2: 確認した運転基準・操作手順書

a) 運転基準

(緊急処置編)

- ・事故直後の操作及び事象判別

(緊急処置編第二部)

- ・全交流動力電源喪失

(緊急処置編第三部)

- ・運転基準緊急処置編(第三部)

(緊急処置編個別手順書)

- ・大容量空冷式発電機による受電
- ・常設電動注入ポンプによる代替格納容器スプレイ
- ・B 充てん / 高圧注入ポンプ(自己冷却)による代替炉心注入
- ・アニュラス空気浄化系による水素排出 他

b) 操作手順書

- ・宮山池(淡水)から中間受槽への給水手順書
- ・中間受槽の組立手順書
- ・可搬型格納容器水素濃度計測装置による接続 / 運転手順書 他

3: 立会した内容

- ・訓練体制の確立状況
- ・訓練対象者の活動状況(情報収集、状況判断、指示・報告、手順書の遵守等) 他

ウ) 大規模損壊発生時の対応に係る総合的な訓練

検査の結果「SA 等要員訓練に係る準備の実施状況」については、原子力訓練センター所長が、平成 29 年度の大規模損壊発生時の対応に係る総合的な訓練の実施計画を作成し、原子炉主任技術者の確認及び所長の承認を得ていることを記録¹により確認した。

発電用原子炉施設において大規模な損壊が発生した場合の対応要領及び消防自動車による給水手順が定められていることを手順書²により確認した。

今回の訓練対象者である緊急時対策本部要員[全体指揮者、号炉毎指揮者、通報連絡者](以下「指揮者等」という。)及び専属消防隊員が必要な力量を有していることを記録¹により確認した。

防災課長が、当該訓練で使用する手順書を適宜見直していることを手順書²により確認した。

防災課長及び保修課長が、化学消防自動車、移動式大容量ポンプ車等の点検を適切に実施していることを記録¹により確認した。

「SA等要員訓練の実施状況」については、代替緊急時対策所において、指揮者等が「大規模損壊時対応ガイドライン」に従い「火災の発生状況」「初期状態」「電源系統の状態」「機器の状態」「可搬型重大事故等対処設備等の状態」等について確認するとともに、プラント状況(炉心温度・圧力、格納容器温度・圧力等)を確認した上で、事象進展に応じた有効かつ効果的な対応操作を判断した後、運転員、重大事故等対策要員及び専属消防隊員に対して可搬型計測器によるパラメータ計測、アクセスルートの確保及び消防自動車による消火活動、格納容器スプレイ操作等について指示していることを立会³により確認した。

専属消防隊員が、指揮者等の指示に従い、小型動力ポンプ付水槽車及び化学消防自動車を配備するとともに、宮山池から補助建屋内の接続口まで送水ホースを敷設した後、専用フランジ取替え作業(モックアップ)を実施していることを立会³により確認した。

訓練確認者が、指揮者等及び専属消防隊員の活動状況を「確認ポイントチェックシート」に基づいてチェックしていることを立会³及び記録¹により確認した。

訓練評価者(防災課長)が、今回の訓練について評価(評価結果:良)し、原子炉主任技術者及び所長に報告していることを記録¹により確認した。

また、訓練対象者(2号炉指揮者、専属消防隊長)に対してインタビューを実施し、大規模損壊発生時における操作・作業の目的や注意点などの理解度等について確認した。

なお、大規模損壊発生時の活動においては迅速性が求められているが、代替緊急時対策所の出入口において、専属消防隊長が、編み上げの靴を脱いたり履いたりするのに時間を要していたこと及び靴紐をしっかり結ばない状態で作業していたことを気付き事項として指摘した。これを受け事業者から、今後、靴を履いたままで代替緊急時対策所への入退室が可能となるように靴カバーを準備するとともに、専属消防隊に対して装備品について適切に着用するよう周知する旨の回答を得た。

1: 確認した記録

- ・平成29年度川内原子力発電所原子力一般教育の実施計画(大規模損壊発生時の対応に係る技術的能力の確認訓練)
- ・技術的能力に係る訓練(大規模損壊)訓練体制
- ・力量評価表(緊急時対策本部要員(指揮者等)の力量)
- ・委託員(専属消防隊)の力量評価の確認結果表
- ・化学消防自動車日常点検表
- ・小型動力ポンプ付水槽車(タンク車)日常点検表
- ・技術的能力の確認訓練実績報告(平成29年度) 他

2: 確認した手順書

- ・大規模損壊時対応ガイドライン
- ・消防自動車による給水手順(炉心・格納容器スプレイ) 他

3: 立会した内容

- ・訓練体制の確立状況
- ・訓練対象者の活動状況
- ・訓練確認者の活動状況 他

エ) その他のSA等要員訓練

検査の結果、別添4「重大事故等発生時又は大規模損壊発生時の対策要員の訓練に係る保安検査の実施状況」のとおり、訓練計画に従い「技術的能力に係る成立性確認訓練」「中央制御室主体の操作に係る成立性確認訓練」及び「現場主体の作業・操作に係る成立性確認机上訓練」を実施していることを記録¹により確認した。

1: 確認した記録

- ・成立性確認訓練等月間計画表
- ・成立性確認訓練実施報告書

また、保安検査実施期間中の日々の運転管理状況については、原子炉設置者からの運転管理状況の聴取、運転記録の確認、原子炉施設の巡視等を行った結果、特段問題がないことを確認した。

以上のことから、当該SA等要員訓練に係る保安活動は良好であると判断する。

(2) 違反事項

なし。

5. 特記事項

なし。

(別添1)

SA等要員訓練時の保安検査日程 (1/2)

【現場シーケンス訓練:全交流動力電源喪失(RCPシールLOCAが発生する場合)】

月日	11月10日(金)	11月11日(土) 11月12日(日)	11月13日(月)	11月14日(火)	11月15日(水)	11月16日(木)
午前	初回会議 中央制御室の巡視 運転管理状況の聴取・ 記録確認	/	検査前会議 中央制御室の巡視及び ITVカメラによる原子炉 格納容器内確認	検査前会議 中央制御室の巡視 運転管理状況の聴取・ 記録確認	検査前会議 SA等要員訓練の実施 状況【現場立会】	検査前会議 SA等要員訓練の実施 状況【現場立会】
午後	SA等要員訓練に係る 準備の実施状況【記録 確認】 チーム会議 まとめ会議		運転管理状況の聴取・ 記録確認 SA等要員訓練に係る 準備の実施状況【訓練 開始前のインタビュー及 び記録確認】 チーム会議 まとめ会議	SA等要員訓練の実施 状況【現場立会】 チーム会議 まとめ会議	SA等要員訓練の実施 状況【現場立会】 チーム会議 まとめ会議 中央制御室の巡視 運転管理状況の聴取・ 記録確認	SA等要員訓練の実施 状況【現場立会】 チーム会議 まとめ会議 中央制御室の巡視 運転管理状況の聴取・ 記録確認
勤務 時間外						

10

:基本検査項目 :会議/記録確認/巡視等

(別添1)

S A等要員訓練時の保安検査日程 (2 / 2)

【現場シーケンス訓練:全交流動力電源喪失(RCPシールLOCAが発生する場合)】

月 日	11月17日(金)	11月18日(土) 11月19日(日)	11月20日(月)	11月21日(火)	11月22日(水)
11 午前 午後 勤務 時間外	検査前会議 S A等要員訓練の実施 状況【現場立会】	/	検査前会議 中央制御室の巡視及び ITV カメラによる原子炉 格納容器内確認	検査前会議 中央制御室の巡視 運転管理状況の聴取・ 記録確認	検査前会議 中央制御室の巡視 運転管理状況の聴取・ 記録確認
	S A等要員訓練の実施 状況【現場立会及び訓 練終了後のインタビュー】 チーム会議 まとめ会議 中央制御室の巡視 運転管理状況の聴取・ 記録確認		運転管理状況の聴取・ 記録確認 チーム会議 まとめ会議	チーム会議 まとめ会議	S A等要員訓練の実施 状況【記録確認】 チーム会議 まとめ会議 最終会議

:基本検査項目 :会議/記録確認/巡視等

(別添2)

SA等要員訓練時の保安検査日程 (1/2)

【現場シーケンス訓練: 雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧破損)】

月 日	11月24日(金)	11月25日(土) 11月26日(日)	11月27日(月)	11月28日(火)	11月29日(水)	11月30日(木)
午前	初回会議 中央制御室の巡視 運転管理状況の聴取・ 記録確認	/	検査前会議 中央制御室の巡視及び ITV カメラによる原子炉 格納容器内確認	検査前会議 中央制御室の巡視 運転管理状況の聴取・ 記録確認	検査前会議 SA等要員訓練の実施 状況【現場立会】	検査前会議 SA等要員訓練の実施 状況【現場立会】
午後	SA等要員訓練に係る準備の実施状況【記録確認】 チーム会議 まとめ会議		運転管理状況の聴取・ 記録確認 SA等要員訓練に係る準備の実施状況【訓練開始前のインタビュー】 チーム会議 まとめ会議	SA等要員訓練の実施状況【現場立会】 チーム会議 まとめ会議	SA等要員訓練の実施状況【現場立会】 チーム会議 まとめ会議 中央制御室の巡視 運転管理状況の聴取・ 記録確認	SA等要員訓練の実施状況【現場立会】 チーム会議 まとめ会議 中央制御室の巡視 運転管理状況の聴取・ 記録確認
勤務 時間外						

12

:基本検査項目 :会議/記録確認/巡視等

(別添2)

SA等要員訓練時の保安検査日程 (2 / 2)
【現場シーケンス訓練: 雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧破損)】

13

月 日	12月1日(金)	12月2日(土) 12月3日(日)	12月4日(月)	12月5日(火)	12月6日(水)
午 前	検査前会議 SA等要員訓練の実施状況【現場立会】		検査前会議 中央制御室の巡視及びITVカメラによる原子炉格納容器内確認	検査前会議 中央制御室の巡視 運転管理状況の聴取・記録確認	検査前会議 SA等要員訓練の実施状況【記録確認】
午 後	SA等要員訓練の実施状況【現場立会、訓練終了後のインタビュー】 チーム会議 まとめ会議 中央制御室の巡視 運転管理状況の聴取・記録確認		運転管理状況の聴取・記録確認 チーム会議 まとめ会議	チーム会議 まとめ会議	中央制御室の巡視 運転管理状況の聴取・記録確認 チーム会議 まとめ会議 最終会議
勤務 時間外					

:基本検査項目 :会議/記録確認/巡視等

(別添3)

SA等要員訓練時の保安検査日程 【大規模損壊発生時の対応に係る総合的な訓練】

月 日	12月20日(水)	12月21日(木)	12月22日(金)	12月23日(土) 12月24日(日)	12月25日(月)	12月26日(火)	12月27日(水)
午 前	初回会議 中央制御室の巡視	検査前会議 SA等要員訓練に係る準備の実施状況【訓練開始前のインタビュー】	検査前会議 SA等要員訓練の実施状況【現場立会】		検査前会議 中央制御室の巡視及びITVカメラによる原子炉格納容器内確認	検査前会議 中央制御室の巡視	検査前会議 SA等要員訓練の実施状況【記録確認】 中央制御室の巡視
午 後	運転管理状況の聴取・記録確認 SA等要員訓練に係る準備の実施状況【記録確認】 チーム会議 まとめ会議	運転管理状況の聴取・記録確認 SA等要員訓練に係る準備の実施状況【記録確認】 中央制御室の巡視 原子炉施設(1、2号機補助建屋)の巡視 チーム会議 まとめ会議	SA等要員訓練の実施状況【現場立会、訓練終了後のインタビュー】 チーム会議 まとめ会議 中央制御室の巡視 運転管理状況の聴取・記録確認		運転管理状況の聴取・記録確認 チーム会議 まとめ会議	運転管理状況の聴取・記録確認 原子炉施設(中間建屋、制御建屋)の巡視 チーム会議 まとめ会議	運転管理状況の聴取・記録確認 定例試験立会(1号機常設電動注入ポンプ起動試験) チーム会議 まとめ会議 最終会議
勤務 時間外							

14

:基本検査項目 :会議/記録確認/巡視等

(別添4)

重大事故等発生時又は大規模損壊発生時の対策要員の訓練に係る保安検査実施状況

訓練名称	訓練実施日	保安検査実施日	保安検査実施者
中央制御室主体の操作に係る成立性確認訓練	平成 29 年 9 月 21 日、10 月 2 日	平成 29 年 10 月 26 日	川ノ上 浩文、米丸 祥一、 藤原 秀一
現場主体の作業・操作に係る成立性確認机上訓練	平成 29 年 9 月 21 日、26 日、10 月 5 日、11 日	平成 29 年 10 月 26 日	川ノ上 浩文、米丸 祥一、 藤原 秀一
技術的能力に係る成立性確認訓練 (運転員・運転対応要員)	平成 29 年 10 月 4 日、10 日	平成 29 年 10 月 26 日	川ノ上 浩文、米丸 祥一、 藤原 秀一
技術的能力に係る成立性確認訓練(保修対応要員)	平成 29 年 9 月 26 日、27 日、28 日、29 日、 10 月 11 日、12 日、13 日、17 日	平成 29 年 10 月 26 日	川ノ上 浩文、米丸 祥一、 藤原 秀一
中央制御室主体の操作に係る成立性確認訓練	平成 29 年 10 月 30 日	平成 29 年 11 月 30 日	川ノ上 浩文、森園 康弘、 小林 慎治、佐々木 敬一、 米丸祥一
技術的能力に係る成立性確認訓練 (運転員・運転対応要員)	平成 29 年 11 月 1 日	平成 29 年 11 月 30 日	川ノ上 浩文、森園 康弘、 小林 慎治、佐々木 敬一、 米丸祥一
現場主体の作業・操作に係る成立性確認机上訓練	平成 29 年 12 月 7 日、12 日	平成 29 年 12 月 26 日	川ノ上 浩文、佐々木 敬一 中村 哲朗
技術的能力に係る成立性確認訓練 (運転員・運転対応要員)	平成 29 年 12 月 11 日、20 日	平成 29 年 12 月 26 日	川ノ上 浩文、佐々木 敬一 中村 哲朗
技術的能力に係る成立性確認訓練(保修対応要員)	平成 29 年 12 月 12 日、13 日、14 日、18 日	平成 29 年 12 月 26 日	川ノ上 浩文、佐々木 敬一 中村 哲朗